



# 棚塩産業団地整備事業起工式

## 関係者による鍬入れ

(左から 武藤原子力災害現地対策本部長、独立行政法人都市再生機構中島理事長、馬場町長、吉野復興大臣、福島県鈴木副知事)



造成工事状況 (5月9日撮影)

4月15日、浪江町内の棚塩地区において、棚塩産業団地整備事業起工式を開催しました。

起工式では、馬場町長から「棚塩産業団地は浪江町復興の大きなシンボルとなる」と期待を込めた挨拶があり、出席された吉野復興大臣や武藤原子力災害現地対策本部長らと共に、鍬入れを行いました。

棚塩産業団地では、福島イノベーション・コースト構想に関連する企業の誘致を進めており、また、福島ロボットテストフィールド滑走路および大規模水素製造拠点施設の整備が計画されています。現在は、浪江町と独立行政法人都市再生機構とで敷地の造成工事を精力的に進めています。

ここで製造する水素は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで活用されることが見込まれています。

## 産業団地完成イメージ図

